

基本高水流量の選択 議題（メモ）

060525 （川谷）

（確認済事項）： 「基本高水」を「対策」と関連づけて選定しない。

1. 「基本高水・ピーク流量」の定義・洪水防御計画の策定における位置づけ
 - ・「政策判断」や「社会的・経済的現実」などが、4000 m³/s あるいは 4700 m³/s を選択する根拠の一つになるか。
 - ・計画策定のどの段階で「政策判断」などがなされるか。
 - ・「基準点 = 甲武橋 の基本高水」の位置づけ
2. 「基本高水」の選択には、将来の自然、社会、技術、財政条件等に応じた変更も考慮すべきか。
3. 「計画規模 1/100」の考え方（定義）
 - ・ 1/100 降雨をモデルに入力する $\left\{ \begin{array}{l} 1/100 \text{ 洪水流量を求める ?} \\ 1/100 \text{ 降雨による洪水流量を求める ?} \end{array} \right.$
4. 「流量確率（確率流量）」を求める意図・利用目的、及び 「1/100 流量の求め方と値の評価」
5. 「引き伸ばし」について
 - ・「引き伸ばし」を行う理由・意図
 - ・「引き伸ばし方法」、「引き伸ばし率」の考え方
 - $\left\{ \begin{array}{l} \text{上限値（たとえば 2.0 倍）を設定する意味} \\ \text{棄却基準を設ける意味} \end{array} \right.$
6. 「棄却基準 1/400」の位置づけ、「地域分布に関する棄却基準」の位置づけ
7. 「時間雨量観測点が 3 点」の観点から見た「S.34 年型降雨（ $\cdot \cdot 5000 \text{ m}^3/\text{s}$ ）」の位置づけ・評価
8. 「1/60 H16 年型（倍率 1.305）（ $\cdot \cdot 4465 \text{ m}^3/\text{s}$ ）」の位置づけ
9. 「1/100 H16 年型（修正モデル降雨）（ $\cdot \cdot 4651 \text{ m}^3/\text{s}$ ）」の位置づけ